

令和 2 年 度

予 算 関 係 参 考 資 料
(新規・拡充事業)

常 総 市

目 次

	事業名	担当課
《充実した市民生活の実現に向けたまちづくり》		
1	LED化等省エネルギー事業	資産管理課
2	情報発信アプリ利用料	秘書課
3	外国人受入環境整備事業	市民と共に考える課
4	合併15周年記念事業	秘書課
5	基幹相談支援センター等事業委託料	社会福祉課
6	公立保育所整備事業	こども課
7	児童クラブ運営管理経費	こども課
8	ウィッグ・乳房補正具購入費助成事業	保健推進課
9	ロタウイルス予防接種委託料	保健推進課
10	水海道有料道路通勤時間帯無料化負担金	都市計画課
11	(仮称)石下西部統合幼稚園整備事業	学校教育課
《圏央道を活かしたまちづくり》		
12	圏央道常総IC周辺整備事業・土地改良事業	農政課
13	道の駅整備事業費	アグリサイエンスバレー 推進チーム

	事業名	担当課
《防災先進都市を目指したまちづくり》		
14	危険ブロック塀等撤去補助事業	都市計画課
15	消防団員自動車運転免許取得等費助成事業	防災危機管理課
16	防災シンポジウム開催事業	防災危機管理課
17	国土強靱化計画策定業務委託料	防災危機管理課
《定住人口の増加につなげる施策》		
18	雇用安定対策事業	商工観光課
19	新規就農者支援事業	農政課
《その他の施策》		
20	入学卒業記念品経費	学校教育課
21	空家対策事業	都市計画課
22	坂野家住宅主屋・表門改修工事	生涯学習課
23	聖火リレー経費	スポーツ振興課
24	豊岡球場等整備事業	スポーツ振興課

資産管理課 予算書P8 金額413,265千円(限度額)

目的

老朽化した設備を省エネルギー設備に改修することで、快適な公共空間を提供するとともに、照明器具交換等の維持管理コストを削減する。

内容

本事業は、公共施設照明のLED化を中心とした省エネルギー改修を22施設で行うもので、約13,000灯の照明をLEDに、一部の空調及び水栓を省エネ型に改修する。改修に要する費用は、後年度以降、省エネによって削減される光熱水費に相当する額を充てて、サービス料として支払うため、市の新たな財政負担が生じない。

【対象施設】

小学校14校、中学校5校、石下庁舎、地域交流センター、生涯学習センター

【スケジュール】

令和2年度当初予算

債務負担行為設定(16年間)

契約、省エネルギー改修工事の施工

令和3年度から17年度

サービス料の支払い(27,551千円/年)

秘書課 予算書P44 金額1,584千円

目的

情報を一つのツールに集約し、情報の発信取得を効率的にする。

内容

世間の情報取得が、パソコンからスマートフォンへと変化してきた現在、情報をアプリに集約することにより発信元の本化と、市民からの意見集約も容易になるため、市民サービス向上にもつながる。

今後さらに進化が見込める、情報発信ツールを導入・活用することで、今以上の市の情報発信PRになる。

市民と共に考える課

予算書P38, 51, 59

金額12,010千円

目的

現在、本市には40箇国、5,000人を超える外国人が居住し、市の人口の約8%を占めており、外国人の人口比率は県内で1位となっている。在住外国人が日本人と同様に公共サービスを受けることができ、安心して生活できる環境を整備すると共に、庁内における外国人との課題解決の一助として、意思疎通や情報提供等を多言語でスムーズに行う一元的相談窓口を設置する。

内容

法務省入国管理庁の外国人受入環境整備交付金(整備費10/10,運営費1/2)を活用し、一元的相談窓口を設置する。

【整備費】※10分の10

3,150,000円(窓口整備に係る翻訳機等の備品, 消耗品の購入費用)

【運営費】※2分の1

4,430,000円(窓口担当職員人件費, テレビ通訳月額使用料)

【窓口について】

1. 開設場所 常総市役所本庁舎(1F)及び石下庁舎
2. 開設時間 月～金(9時～17時)
3. 担当職員 通訳職員3名, 再任用職員2～3名(予定)
4. 対応方法 翻訳機, テレビ通訳, やさしい日本語

2款1項16目01事業

合併15周年記念事業

新規・拡充

秘書課

予算書P58

金額3,424千円

目的

合併15周年記念式典で、市功労者を表彰する。

内容

平成27年に水害のため開催できなかった10周年記念式典を、令和2年度の合併15年を機に記念式典として開催し、市の政治、経済、社会、文化等各分野で市政の発展に寄与された方を自治功労者表彰、一般功労者表彰、特別表彰として表彰し、その功績をたたえとともに、記念品を贈呈する。

目的

社会福祉課

予算書P76

金額4,868千円

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害者相談支援事業をはじめ身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく相談等の業務を総合的に行う基幹相談支援センターの運営を委託する。また、障害福祉サービスを利用するために必要とされる標準的な支援の度合いを示す障害支援区分を把握するために、心身の状況等を利用者や支援者等から80項目の聞き取り調査を行う支援区分認定調査業務を委託する。

内容

・基幹相談支援センターは、地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務等を行う。

○総合相談・専門相談

- 障がいの種別や各種ニーズに対応する
- ・総合的な相談支援の実施
 - ・専門的な相談支援の実施

○地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者の人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

○地域移行・地域定着

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係るコーディネート

○権利擁護・虐待防止

- ・成年後見制度利用支援
- ・虐待を防止する取組

・認定調査とは、その対象者の支援区分を判定する審査会にかける資料を作成するために行うもので、身体障害・知的障害・精神障害・難病のある方それぞれの生活環境を踏まえ、どのような支援をどの程度必要とするかを調査をするものである。

こども課 予算書P90 金額280,471千円

目的

水海道第一，第二，第四保育所を小学校へ移転，整備し，こども達の安全確保及び保小連携を図る。

内容

場所	整備面積の概要	工事内容の概要
豊岡小学校 (第一保育所)	教室活用 約290m ² 新設面積 約60m ²	①空き教室改修，②調理室新設，③トイレ改修・新設， ④園庭整備，⑤保護者駐車場整備，⑥保育所と小学校 の異種用途区分け，⑦その他付帯工事
三妻小学校 (第二保育所)	教室活用 約200m ² 新設面積 約60m ²	①空き教室改修，②調理室新設，③トイレ新設，④園庭 整備，⑤保護者進入路・駐車場整備，⑥保育所と小学 校の異種用途区分け，⑦その他付帯工事
菅生小学校 (第四保育所)	教室活用 約190m ² 新設面積 約310m ²	①図書室改修，②調理室新設，③トイレ新設，④園舎新 設，⑤園庭整備，⑥保護者進入路・駐車場整備，⑦プ ール解体，⑧保育所と小学校の異種用途区分け，⑨そ の他付帯工事

こども課 予算書P92 金額147,592千円

目的

児童クラブ運営内容を拡充する。

内容

- ①利用時間拡大
8:00～18:30 ⇒ 7:00～19:00
- ②土曜日の開所時間・場所拡大
水海道小児童クラブ(1箇所) ⇒ 水海道小・石下小児童クラブ(2箇所)
毎週8:00～18:30開所 ⇒ 毎週7:00～19:00開所
- ③おやつ提供日の拡大
授業日のみ ⇒ 授業日・休業日(全日)
- ④学校休業日等における昼食の提供
持参 ⇒ 注文・持参の選択制
- ⑤専任指導員(クラブ単位の責任者)配置による運営強化
ア 質の高い運営 イ 安全管理の拡充
ウ 指導員の質の向上 エ 迅速かつ信頼のおける保護者対応
- ⑥利用条件の緩和
ア 祖父母の状況によっては利用不可 ⇒ 祖父母の状況不問で利用可能
イ 産休期間中のみ利用可能 ⇒ 産休・育休期間中利用可能

4款1項1目02事業

ウィッグ・乳房補正具購入費助成事業

新規・拡充

保健推進課

予算書P96

金額100千円

目的

- ・がんの治療による身体的及び心理的、経済的な負担を軽減する。
- ・社会参加を促し、療養生活の質を向上する。

内容

がんの治療に伴う外見の悩みをかかえているがん患者の就労・外出といった社会参加を促し療養生活の質の向上を図る。

- ①がん治療(化学療法)による脱毛に伴うウィッグ購入の方への助成。
- ②乳がん治療(手術)に伴う乳房補正具の購入の方への助成。

令和2年度100,000円

※ ウィッグ購入助成	10,000円 × 5人 =	50,000円
乳房補正具購入助成	10,000円 × 5人 =	50,000円

保健推進課

予算書P99

金額6,090千円

目的

ロタウイルスによる感染症の発生・まん延を防ぐ。

内容

- ロタウイルス予防接種費用の公費負担(令和2年10月より定期接種化)
ロタリックス: $15,000円 \times 100人 \times 2回 = 3,000,000円$
ロタテック : $10,300円 \times 100人 \times 3回 = 3,090,000円$
- 対象(ワクチンの種類により異なる)
ロタリックス: 生後6週に至った日の翌日から生後24週に至る日の翌日までの間
ロタテック : 生後6週に至った日の翌日から生後32週に至る日の翌日までの間
※ただし, 令和2年8月1日以降に生まれた者に限る。
- 接種回数
ロタリックス: 2回, ロタテック: 3回

都市計画課 予算書P134 金額43,000千円

目的

通勤時間帯に抜け道となっている豊岡地区の通学路へ流入している車両の減少を図り、豊水橋及び市街地の渋滞を緩和する。

内容

- 1 無料化の時間
平日の午前6時から午前8時まで
- 2 効果
 - ・豊水橋, 美妻橋及び市街地の渋滞を緩和し, 市民の生活環境の改善が図れる。
 - ・車両の減少により通学児童の安全が確保される。

目的

園児の安全を第一に考え、耐震不足である園舎の改善が急務であることから、既存園舎を解体したのち、新たに園舎を改築し、より良好な幼児教育環境を整備する。

内容

事業概要

■飯沼幼稚園既存園舎解体工事及び新園舎改築工事

○解体工事

➢園舎 / 物置 / 遊具撤去

○改築工事……木造平屋建て(床面積:約750㎡)

➢本体工事 3・4・5歳児保育室(各2部屋), 遊戯室(兼預かり保育室), 職員室, 園児用・職員用トイレ, 各種収納

➢電気設備工事 / 機械設備工事 / 外構工事

目的

農政課 予算書P115 金額50,499千円

本市の基幹産業である農業を活性化するために、農業によるまちづくりを目標とした「農業との融合による産業団地の形成(アグリサイエンスバレー構想)」に基づき農地エリアの整備(土地改良事業)を行い、農業の振興・雇用機会の創出・新規就農者の育成に寄与することをねらいとする。

内容

農地エリアの整備

- 対象エリア:約14ha(圏央道常総IC周辺整備事業区域の農地エリア)
- 施行者:常総市(土地改良事業による区画整理を実施)
- 施行時期:令和2年10月着工～令和3年3月末(予定)
- 工事内容:現在の田を乾田化,畦畔除去を行い大区画化を図り,大規模施設園芸施設や観光農園へ転換する。また分散されている農地の集団化も図っていく。

農地エリアの取組み

- 本エリアにおいては新しい農業にチャレンジしていくエリアとして「収益性の高い農業」や「先進技術等」を活用した「労働力に頼らない農業」のモデルケースを展開していく。

アグリサイエンスバレー推進チーム 予算書P137 金額50,000千円

目的

地域全体で農業の6次産業化に向けた取り組みを中心に、農作物や物産の販売拠点とし、市内に利益を還元するとともに、地域企業や公共施設との連携、市内地域資源が相互に繋がるネットワークを形成し、地方創生に向けた拠点づくりを目指す道の駅を整備する。

内容

2022年度末の開業を目標に、基本設計・実計設計の業務を行う。施設整備計画、道路管理者（茨城県）との一体整備協議及び補助金申請時の施設概要等に必要な業務である。

基本設計：建築や都市計画などの設計過程で、条件に合うように基本的な事項を決定し、図面・仕様を作成する。工事費の概算が明らかにされ、実施設計のもとになる。

実施設計：基本設計に基づいて、工事の実施及び工事費の内訳明細書の作成ができる段階まで、設計図書を詳細化する。

都市計画課

予算書P135

金額1,200千円

目的

危険ブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、危険ブロック塀等撤去補助金を交付し、災害に強いまちづくりの推進に資する。

内容

国が平成30年から令和2年度の3年間で防災・減災・国土強靱化の3箇年として位置付けられ、地方自治体への支援策を制度化した。

今般、国の方針を踏まえ、危険ブロック塀等（道路面から高さが80センチメートルを超える組積造又は補強コンクリートブロック造の塀であって、倒壊の危険があるもの）の全部を撤去する又は一部を撤去し80センチメートル以下に減じる工事に対して、補助金を交付する。

【補助金の額】

撤去費用工事の1/2もしくは10万円のいずれか低い額

【実施期間】

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

防災危機管理課 予算書P141 金額231千円

目的

消防団員の円滑かつ迅速な消防活動を図るため、消防車両を運転するために必要な免許の取得に対して助成をする。

内容

補助対象	補助対象者が所属する分団に配備されている消防車両の運転に必要な資格
	・オートマチック限定解除
	・準中型(5t限定)限定解除
	・中型免許取得
	・準中型免許取得
要件	免許の取得等をした年から、5年以上団員として活動が見込まれる者
対象経費	教習所入所経費
	教習経費
	修了・卒業検定経費
助成額	対象経費の合計額 ※1,000円未満切り捨て

防災危機管理課

予算書P144

金額2,900千円

目的

平成27年9月関東・東北豪雨を契機とし、9月10日を常総市防災の日と制定した。災害を風化させないことや地域全体が連携した「災害に強いまちづくり・ひとづくり」を実現するために本シンポジウムを開催する。

内容

水害から5年目である今年度は、自治総合センターの助成事業として防災シンポジウムを開催する。

(第1部)

- 1.基調講演「地域の関わりで防災“も”考える」(仮)
- 2.特別講演「すぐに役立つ情報の調べ方」(仮) 気象キャスター
- 3.パネルディスカッション「広域防災の提言とその後の取組み」
- 4.表彰

(第2部)

- 1.落語 紙芝居
- 2.対談 NPO法人ママプラグ代表理事×常総市ふるさと大使
- 3.TUNAMIバイオリンコンサート

* 震災の津波で流された岩手県陸前高田市の流木などからつくられた「津波バイオリン」の演奏会。風化を防ぐため世界の演奏家千人が弾き継いでいく取組みとして行われている。

防災危機管理課

予算書P145

金額4,000千円

目的

大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興に資する国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進する指針として策定する。

内容

本市の最上位計画「じょうそう未来創生プラン」と並列の位置づけとし、各分野別計画等における国土強靱化に関する指針となるものである。

なお、令和3年度から地方公共団体等が実施する国の関係府省庁の補助事業・交付金事業に対し、「国土強靱化地域計画に基づき実施される取組又は明記された事業」であることを交付要件とする「要件化」が検討されていることから本計画を策定する。

【計画内容】

目指すべき将来の地域の姿

- STEP1 地域を強靱化する上での目標の明確化
- STEP2 リスクシナリオ(最悪の事態)、施策分野の設定
- STEP3 脆弱性の分析・評価、課題の検討
- STEP4 リスクへの対応方策の検討
- STEP5 対応方策について重点化、優先順位付け

5款1項1目02事業

雇用安定対策事業

新規・**拡充**

商工観光課 予算書P108 金額105千円

目的

人口減少、少子化が続く中で、人材確保が喫緊の課題となっている。平成31年3月に茨城労働局と雇用対策協定を締結したことで、連携を強化して雇用拡大を図る。

内容

令和2年度実施予定

	事業概要	費用
合同入社式の実施	新規採用が少人数の事業者に対し、合同入社式への参加を呼びかけ、新入社員同士の交流の場を設けることやビジネスマナー講習会等を実施することで地元定着を図る。	記念品費 1,500円×1.1×30人 50千円
企業見学バスツアーの実施	高校生を対象に企業見学バスツアーを実施し、市内企業の魅力を知ってもらうことで、地元雇用の拡大を図る。	損害保険料 1,500円×3日 5千円

農政課 予算書P114 予算額300千円

目的

次世代の常総市の農業を担う人材の育成を支援する。

内容

東京で開催される就農相談会に雇用希望農家と共に出展(年2回)することで、まずは常総市、常総市の農業を知ってもらい、以降、農地見学会、農業体験会を続けて開催することで、常総市での雇用就農に繋げる。

(1ブース10万円×2回=20万)

次の段階として、雇用就農(兼研修)を数年間実施した後に、常総市で就農する際、国の補助事業を活用した経営資金交付とともに、農地賃借料の一部を補助し、就農開始から早期の経営安定化に向けた支援体制を整えることで、農業定着を支援し、担い手農家の育成を図る。

(1万円/10a 上限5万円×2人=10万円)

学校教育課 予算書P147 金額3,797千円

目的

- ・小学校及び中学校の入学・卒業の記念として記念品を贈呈する。
- ・小学校入学時にはさんすうセットを，卒業時には英和辞典を配布する。
- ・中学校入学時にはヘルメットを，卒業時には印鑑を配布する。

内容

中学校入学時に贈呈するヘルメットについて，通気性や重量等を考慮し，また，最近のサイクリングブームを基に，中学生がより親しみやすいスポーツタイプにデザインを変更する。

登下校時はもちろん，プライベート乗車時の着用を促進することで生徒の交通安全対策に寄与する。

本事業は，入学時記念品贈呈ということで，令和2年度の新一年生から新デザインのヘルメットを配布し，令和4年度までに市内全中学生が新デザインに移行する。

都市計画課 予算書P136 金額6,233千円

目的

- ・市空家等対策計画に基づき、空き家の活用や除却などを効率的に実施する。
- ・空家等バンクを通じた取引に対する支援を行うことで、空家等の売買や賃貸借に係る取引を活性化させる。

内容

1 特定空家等の行政代執行事業

特定空家等に認定された建物の所有者が自主的対応を行わず、周辺に危険を及ぼす又は衛生上問題があり、早急な対応が必要な場合などに、行政代執行により建物等の除却を実施する。

令和元年12月末現在 特定空家 2件

2 空家等バンク活用支援事業

空家等バンクの活用を促進するため、支援補助金の制度を創設し、バンクを通じた取引の活性化を図る。

- ・登録物件の取得に対する補助(上限30万円・取得対価の5%以内)
- ・改修費用の一部補助(上限30万円・補助対象経費の1/2以内)

生涯学習課 予算書P173 金額33,400千円

目的

重要文化財に指定されている坂野家住宅の主屋及び表門の茅葺屋根の傷みが著しいことから、国庫補助金を活用した修理を行い、景観の復旧を図る。これにより、来館者やフィルムコミッション利用の増加につなげる。

内容**【直近の修理状況】**

主屋・・・平成14～17年度に全解体修理を実施。その際に屋根についてもすべて葺き直した。

表門・・・平成18年度に全国社寺等屋根工事技術保存会の実地研修会場として提供し、葺き直しを行った。

【現状】

どちらの建造物も、屋根葺替から13～14年が経過しており、小規模な屋根の傷みは差茅による修繕でこれまで対応してきたが、陥没や棟部分等の腐朽も目立ってきており、特に破損の著しい主屋居室部南面、座敷部東面及び表門全面は大規模修繕の必要な時期がきている。

【修理方針】

今回の修理は、文化庁所管の国庫補助事業の対象となることから、補助金(国補助率1/2, 県補助なし)を活用して破損の著しい箇所を現状に戻す修理を実施する。補助事業の執行にあたっては、破損状況の調査、材料(主として茅)の確保や茅葺という特殊な工程で時間を要することから、令和2～3年度の2箇年度の事業として計画し、文化庁をはじめとする専門家の技術指導を仰ぎながら進めていく。

スポーツ振興課 予算書P181 金額1,486千円

目的

東京2020オリンピック聖火リレーが、2020年7月6日、常総市を通過することが決定した。この栄誉ある出来事を歓迎し、一人でも多くの市民に聖火を見てもらう機会をつくる。

内容

【市内の聖火リレールート】

- ・第1ルート「菅生沼ふれあい橋～水海道あすなろの里」
- ・第2ルート「石下大橋南側鬼怒川堤防～鬼怒川決壊の碑」

【事業概要】

- ・機運の醸成を図るため、懸垂幕や横断幕、のぼり旗等を作成する。また、一人でも多くの市民に観覧していただくように、チラシを作成し全戸配布する。
- ・2ルートにおけるスタート・ゴール地点でにぎわいを創出するために、市内県立3高の吹奏学部による演奏を実施する。
- ・第2ルートは鬼怒川堤防のため、現地まで車で行くことができないため、観覧者用に石下総合福祉センター南側からシャトルバスを走らせる。
- ・聖火リレーが通過したことを記念し、2箇所にもニュメントを設置する。

スポーツ振興課 予算書P182 金額45,500千円

目的

市民の健康で活気あふれる社会生活に寄与するため、生涯スポーツ社会の実現を目指し、市民がいつでも利用できる安心安全なスポーツ環境を有した社会体育施設を整備する。

内容

平成30年4月から令和元年5月まで水防災意識社会の再構築を目指し、『鬼怒川緊急対策プロジェクト』により堤防の整備を実施した。

堤防拡幅工事が終了したため、野球場の整備工事を行う。

- ①野球場整備工事(グラウンド舗装・バックネット・ダッグアウト及びベンチ・スコアボード・フェンス等)
- ②多目的広場整備工事
- ③駐車場整備工事